

大館北秋田地域林業成長産業化協議会
再造林推進部会

協議記録

日時：令和元年6月28日（金）15：00～

会場：北秋田市役所 第2庁舎 第3会議室

大館北秋田地域林業成長産業化協議会 再造林部会 出席者名簿 (R1.6.28)

大館北秋田地域林業成長産業化協議会会員

番号	区分	所属	役職	氏名	備考
1	森林組合	大館北秋田森林組合	森林整備課長	阿部 昌宏	
2	素材生産者	(有)阿部林業	(欠席)		
3		(有)畠山造林	(欠席)		
4		(有)花田造材部	(欠席)		
5		(有)伊東農園	代表取締役	伊東 毅	部会長
			部長	佐藤 保	
6		(有)新林林業	専務取締役	新林 誠悦	
7		(有)山田造材部	総務担当	菊地 和俊	
8		山一林業(株)	(欠席)		
9		石上木材	(欠席)		
10		小林林業	(欠席)		
11		(有)佐栄林業	(欠席)		
12		(有)中田工業	(欠席)		
13		(株)石川組	代表取締役社長	島崎 祐男	副部会長
14	苗木生産者	秋田県山林種苗協同組合北秋田支部	(欠席)		
15		農事組合法人上仏社営農組合	(欠席)		
28	木材流通事業者	物林(株)	住環境システム部長	田口 慎二	
			国産材営業部	関口 祐之	
30	市村	大館市	農林課農林整備係主任主事	千葉 泰生	
			農林課農林整備係嘱託職員	仲谷 寿敬	
31		北秋田市	農林課林業振興係副主幹	藤田 学	
			農林課林業振興係主事	杉渕 亜希	
			農林課林業振興係主事	長岐 英泰	
32		上小阿仁村	(欠席)		

再造林推進部会では、「ロードマップの進捗状況」、「今年度の取り組み内容について」について協議を行いました。

【協議内容】

(1) ロードマップの進捗状況、(2) 今年度の取り組み内容について

【主伐・再造林一貫作業システム推進】

<事務局>

- ・フィールドについて、今年目標としては大館市では設定しているので、北秋田市と上小阿仁村にも設定できればベストだが、各市村の事情等もある。
- ・譲与税に関する意向調査も、フィールドの設定ということでは同じなので、協議会で意見を頂きながらの方がより実効性のあるものとなると思われる。

<部会員>

- ・フィールドを行うとなれば、メンバーを確保しなければならないし、コンテナ苗の確保も必要。
- ・各事業体も自社の仕事がある。
- ・国有林との連携を視野に入れた話を進めているのか。国有林と民有林が接しているところでは、路網整備の制度がある。伐採して搬出するのであれば、連動してやっていただきたい。

【森林再生基金】

<部会員>

- ・基金も、毎回欠席している事業体の方も納得して参加するのか。伐採したものから一定の割合を積み立てるものか。
- ・秋田スギ・認証材利用促進部会では、「どうせ続かないのではないか。」「川上は自分の仕事に直結するから良いが、川中は特に直結しているわけではない。」という意見があった。しかし、再造林されず木材の供給が減少すると、川中の事業も続かず、協議会全体で成長産業化を目指し、フィールドも提供されることだから、引き続き検討することとなった。
- ・他県でも同様の状態。しかし、この地域は成長産業化モデル事業に選ばれているので、成果を出さなければならない。少ない事業量でも、循環の輪を実施することが必要。

【苗木増産】

<事務局>

- ・人によって苗木の生産方法が異なるため、統一化するのも非常に難しいという意見も頂いている。地域としてこういう作り方をしているというマニュアル等があった方が良いと考えている。

【その他】

<部会員>

- ・協議会が5年で終了し、解散するのではもったいない。せっかく集まったメンバーなので、引き続き取り組めるようにして頂きたい。
- ・この組織を継続することによって、森林環境譲与税を使った事業も行いやすくなる。

以上